

80年代スキーバブルって知ってますか!?

一般社団法人日本スノースポーツ&リゾート協議会 副会長

岸野 博



80年代の スキーリゾート

私ガスキー業界に足を入れたのは82年で、世はスキーバブルでそのものでした。彼女に「泊りでスキーに行こう!」と誘えばどんな親御さんでも許してくれました。

しかしクリスマスに「アベック」で泊りに行きたくても、ほぼ2ヶ月前には満室になってしまい、先ず苗場プリンスホテル（=通称苗プリ）を予約してから誰を誘うか決めても大丈夫!? でした。(笑)

また苗プリのリフトは早朝5時から稼働していて、日帰りでも夜中に出て、一気に滑って昼食べて猿ヶ京温泉でお風呂に入って夕方には帰京出来ました。

週末の夕方は月夜野からの関越道の渋滞が酷いので、抜け道で渋川に逃げるのが自慢だったりしました。

当時クリスマスに一番人気のニュースキー履いてリフト乗り場で自慢する事もよく見かけました。踏まれると睨みを利かして、また踏み返す!という戦いをしながらリフト待ちを楽しんでいました。

お金の無い学生や若いサラリーマンは「スキーバス」で夜中に出掛けるんですが、その出発場所はほぼ西新宿辺りで、ローラーの付いた大きめのバッグをコロコロ転がして、今居たら異様な人物と思われたと思います。(笑)

バスは100台以上並んでいたの、間違えて違うスキー場に着いた!なんて事もよく聞きました!

スキーバス

スキー大会

昔最大の大会は岩岳学生大会で1日に男女500人ずつ1,000人のレーサーが競っていました。

そして、その本戦に出るには予選会があってその予選会にも同数のほぼ1,000人以上が競っていたので実質2,000人以上の学生がこの大会を目指して居たんですから、スキー業界には大きなマーケットだったんです！

優勝者には海外旅行！という大会が山ほど実施されていたのも、この80年代がピークだったと思います！

最後に

「スキーバブルよもう一度！」とかいう人が時々居ますが、ここまで書いた情景が復活するというのはあり得ないと思っています。

でもそんな楽しい、健康で、生涯スポーツを多くの人にもう一度味わってもらいたい！と思う今日この頃です・・・

岸野 博 / Kishino Hiroshi

1982年サロモンスポーツ販売入社

約20年営業販促を経て

2003年アメアスポーツアトミック代表・事業部長を経て

2007年サロモン事業部長

2014年からアメアスポーツ代表取締役社長

現在本間ゴルフ顧問